

Course number		U-LAS06 20021 LJ42					
Course title (and course title in English)		国際政治論II International Politics II		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,SAITOU YOSHIOMI	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Jurisprudence, Politics and Economics(Issues)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
Days and periods		Tue.2		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
今日の国際秩序はいかなる性質を持っているのかという問題意識を念頭に、現代世界の具体的な課題を検討することを通して、多様化する安全保障の問題を検討する。平和や安全保障を捉える視点は歴史的に変容しており、安全保障主体や客体に関する焦点は、国家から国際機関、さらには人間個人へと移行してきた。安全保障の脅威や手段についても、軍事的なものから非軍事的なものまで幅広い。そこで、本講義では新しい平和・安全保障の考え方を体系的に捉えることで、平和・安全保障についての概念的整理を行うとともに、その平和・安全保障観がいかに現実の政策に反映されているか理解することを目的としている。							
[Course objectives]							
安全保障問題を分析する際に重要となる、基本的な概念について十分な理解を得る。							
[Course schedule and contents]							
以下の内容で各1-2回程度、講義する。（進め方は参考程度）							
1 オリエンテーション 2 国際政治と安全保障観・平和観の変容 3 グローバル化と新しい戦争 4 安全保障の主体は誰か（国際機関と国際安全保障） 5 安全保障の主体は誰か（地域機関と国際安全保障） 6 安全保障の客体は誰か（マイノリティと民族自決） 7 安全保障の客体は誰か（人間の安全保障） 8 安全保障の手段は何か（人道的介入と保護する責任） 9 安全保障の手段は何か（国際援助、民主主義、ガバナンス） 10 安全保障に正義はあるのか（正戦・戦争中の正義・移行期正義）							
履修者が多い場合、選抜する可能性もあるので、初回の時間には必ず参加すること。							
[Course requirements]							
None							

Continue to 国際政治論II(2)							

国際政治論II(2)

[Evaluation methods and policy]

試験の成績（100％）

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業後には、事前に指定された参考書等の該当箇所を読んで復習すること。

[Other information (office hours, etc.)]

特になし